| 事業番号 | 04　05　02 |
|---|---|

# 事業改善シート（29年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

| 事業名 | 多文化共生推進事業 | 部局 | 県民文化部 | 課・室 | 国際課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 実施期間 | ～ | E-mail | kokusai@pref.nagano.lg.jp |

| しあわせ信州創造プラン（総合5か年計画） | |
|---|---|
| プロジェクト | |
| 施策の総合的展開 | 2－2　協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現<br>4　国際化の推進 |

## 1　事業の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 現状（予算編成時） | ○平成27年12月末現在の県内に在住する外国人は30,443人。約10年ぶりに増加に転ずるとともに、引き続き永住資格所得者が増加しており、定住化が進んでいる。<br>○母国の言語、文化、諸制度との違いなどから、外国籍県民が安心して暮らしていく上で、教育、労働をはじめ、様々な課題を抱えている。また、コミュニケーション能力の不足により、就学や進学が困難になるなどの課題が顕在化している。<br>○行政からの一方的な施策だけでなく、外国籍県民自らが主体となり生活上の課題解決を図る活動を支援するなど、当事者を巻き込んだ施策の展開が必要であり、今後、活動の担い手となる外国籍県民キーパーソンの育成、活動の促進、行政との連携を進めていく必要がある。<br>○平成27年3月には、今後の長野県の多文化共生推進の道標となる長野県多文化共生推進指針を策定し、施策を実施している。 | 29年度要求額 | 15,292 千円 |
| | | 職員数 | 3.00 人 |
| 目指す姿 | 国籍や文化の違いを尊重し合い、誰もが参加し、協働して多様性を活かした豊かな地域を創造する。<br>（長野県多文化共生推進指針　多文化共生社会を実現するための基本目標）<br><br>（主な実施内容：　多文化共生くらしのサポーター設置、外国籍児童就学支援、外国籍県民の助け合い活動等を担う人材育成　など） | | |

**事業コスト**

| 区分（単位：千円） | | 27年度 | 28年度 | 29要求 | 29予算案 |
|---|---|---|---|---|---|
| 予算額 | 前年度繰越 | | | | |
| | 当初予算 | 47,383 | 18,223 | 15,292 | |
| | 補正予算 | | | | |
| | 合計（A） | 47,383 | 18,223 | 15,292 | 0 |
| Aの財源 | 一般財源 | 11,738 | 11,517 | 11,335 | |
| | 県債 | | | | |
| | 国庫支出金 | 2,786 | 2,951 | | |
| | その他 | 32,859 | 3,755 | 3,957 | 0 |
| 決算額（B） | | 36,271 | | | |
| 概算人件費 | 職員数（人） | 3.50 | 3.50 | 3.00 | |
| | 概算人件費（C） | 28,966 | 28,966 | 24,828 | 0 |
| 概算事業費（B（A）+C） | | 65,237 | 47,189 | 40,120 | 0 |

**指標及びその達成状況**

| No | 成果指標 | 27年度末 | 28年度末（見込） | 29年度 目標値 | 29年度 成果 | 29年度 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 外国籍県民が主体となった助け合い活動を行う団体数（累計） | 0団体 | 7団体 | 10団体 | | |
| ② | 外国籍県民・地域等のネットワーク形成の集まりへの参加者数 | － | － | 150人 | | |
| ③ | くらしのサポーター相談件数 | 4,829件 | 5,000件 | 5,000件 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 成果指標設定理由 | |
|---|---|
| | ①外国籍県民が主体となった助け合い活動等を行う団体数（25年度からの5年間で10団体の登録を予定）<br>②外国籍県民と地域・行政とのつなぎ役となる者間のネットワーク形成のための集まりへの出席者数　150人（H27～28キーパーソン事業参加者196人・H26～28バイリンガル日本語指導者修了生90人の約半数）<br>③多文化共生くらしのサポーター（母国語相談員）相談件数　5,000件（過去10年平均相談件数4,820件）<br>「外国籍県民の暮らしやすさ」のための相談体制整備、「自助共助の取組みにつなげる」ネットワークの形成、「地域・行政の施策との橋渡しを担う」団体数を、多文化共生社会実現のための成果指標に設定 |

| 指摘事項等への対応 | 指摘事項 | 対応 |
|---|---|---|
| □ 監査<br>□ 決算特別委員会<br>□ 県民協働による事業改善 | | |

| 予算要求からの主な変更点 | |
|---|---|

## 2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

| No | プロジェクトNo | 細事業名 | 29年度　実施内容（予定） | 職員数（人） | 28年度（当初） | 29年度（要求） | 29年度（予算案） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | 多文化共生推進事業 | 文化、生活習慣の違いから悩みを抱える外国籍県民等が安心して暮らすことができる県づくりの推進 | 3.00 | 18,223 | 15,292 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | 合計 | 3.00 | 18,223 | 15,292 | 0 |